

あともす

2024/No. 265 5月号

- 今月の話題
原子力センターの被災状況について … 1
- 原子力なあるほど教室
志賀原子力発電所の震災影響レポート … 3
- わが町トピックス …… 5
- モニタリング関連 …… 7
- 特別寄稿
志賀町の文化財(三) …… 10



能登半島上空を飛行するブルーインパルス(七尾市)

令和6年3月18日、航空自衛隊松島基地所属の第11飛行隊、通称「ブルーインパルス」の6機の機体が編隊を組み、白いスモークを出しながら能登半島上空を飛行しました。

写真は七尾市上空をフェニックス・ローパス隊形で航空する様子。

能登原子力センターの被災状況について

この度の能登半島地震で被害に遭われた方に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げますと共に、復興に向け、さまざまな課題にご尽力頂いている方々に対しまして、心より御礼申し上げます。

地震による影響

今回の地震により能登原子力センターでは、天井の落下、給排水設備の破損など、大きな被害を受けました。（下の写真）

こうしたことから、1月4日からの開館取り止めや、あともす1月号が急遽、休刊致しましたことをお詫び申し上げます。

幸い、お正月の休館中のため、来館されている方がおらず、人的被害はありませんでしたが、天井が落ちたのが展示エリアだったこともあり、もしこれが開館中の出来事だったならと想像すると、とても恐ろしくなりました。

今後の予定について

地震直後から続いていた断水も約1カ月後の2月上旬には解消されました。後半には浄化槽の仮復旧工事を行い水回りが使用できるようになりました。また、開館に向けて館内の整理や掃除などを行い、来館される方を受け入れられるような態勢を整えてきました。



▲地震が起きた時刻
付近で止まった時計



▲2階展示室天井落下



▲会議室天井より雨漏り



▲浄化槽亀裂



▲壁面の亀裂



▲地面の亀裂



エネルギー・電気コーナーの様子



光で電気をつくる



来館スタンプラリー



会議室



▲開館を予定している部分（ 部分）



たんけんステーション内
「バーチャルあともす」

全ての復旧についてはまだまだ先となりそうですが、被害の少なかった1階部分（図の緑色の部分）については、準備が整い次第、開館する予定です。

また、開館後は、30名まで利用可能な1階会議室の無料貸出も再開致しますので、ご利用の場合はお問合せください。

例年開催している催し物については、被災された皆様を元気づけられるような内容で実施していきたいと考えています。

現在のところ開館日、催し物共に実施時期は未定ですが、実施が決まりましたら当広報誌、または、能登原子力センターHPなどでお知らせします。

みなさまのご来館、心よりお待ちしております。

志賀原子力発電所の 震災影響レポート



1月1日、午後4時10分、能登半島で地震が発生し、志賀原子力発電所が立地する志賀町で震度7を観測、発電所でも震度5強を観測しました。

この大きな地震の影響により、志賀原子力発電所でも被害があったと報道されました。地域に住む住民の皆様の中にも不安を持った方がいたのではないのでしょうか。筆者の私自身も、住民の一人として不安を持ったことを覚えています。

そこで、報道内容を確認すべく、急遽、震災後の志賀原子力発電所の現状を見学し、その状況をレポートします。

(記事の内容は3月下旬時点のものです。)



▲概要説明を受ける様子

震災の影響

今回見学するにあたり、事前にニュース等の報道を聞き、私が不安に思っていたのは次の4点です。

- ① 火災が起こった？
- ② 油が漏れて海に流れ出ていた？
- ③ 使用済燃料貯蔵プールから水があふれた？
- ④ 津波の影響は？

① 火災が起こった？

まず真っ先に私の耳に飛び込んできたのは発電所で火災が起こったという報道でした。

発電所で発電した電気を送ったり、逆に外部からもらうために電圧を変える「変圧器」からの火災と当初報道されていた。

ましたが、実際には火災は起こってなかったということです。

変圧器は、電気を絶縁したり発生する熱を冷やしたりするために油が使われています。それが地震の影響で漏れ、そのにおいが焦げたようなにおいだったことから、火災の可能性があるとし、119番通報したことが報道された原因だったようです。

② 油が漏れて海に流れ出ていた？

前項で紹介した変圧器から漏れ出た油は本来、変圧器の地下に設置されたタンクに溜まるように設計されています。しかし、油漏れに伴い、噴霧消火設備が作動したことによって、勢いよく出る消火用の水と、漏れ出た油が混ざり飛散したため、それらが雨水とともに側溝を通り海に流れ出ていたようです。

当初私は、漏れ出た油に放射能などが含まれているのではと心配でしたが、変圧器の油のため、放射能が含まれる事はなく、漏れ出た油も既に回収済とのことでは不安は解消されました。

③使用済燃料貯蔵プールから水があふれた？

使用済燃料は発電所で使い終えても熱や放射線を発生し続けます。そのため、使用済燃料貯蔵プールの中で安全に冷却・保管する必要があります。

地震の揺れで1・2号機のプールの水が大きく波打つ「スロッシング現象」が発生し、水がプールの外に飛散しました。飛散した量は、1号機が約95リットル、2号機が約326リットル、水位としては1号機で0.8ミリメートル、2号機で1.3ミリメートル下がった程度であり、飛散した水については既にふき取りを実施し、外部への放射能の影響はないとのことでした。また、全体からすると飛散した量がわずかで、冷却機能にも影響はないとのことでした。

④津波の影響は？

今回の地震では津波も発生しました。当初は敷地前面の水位に変動なしと発表されていましたが、のちに4 mに訂正さ

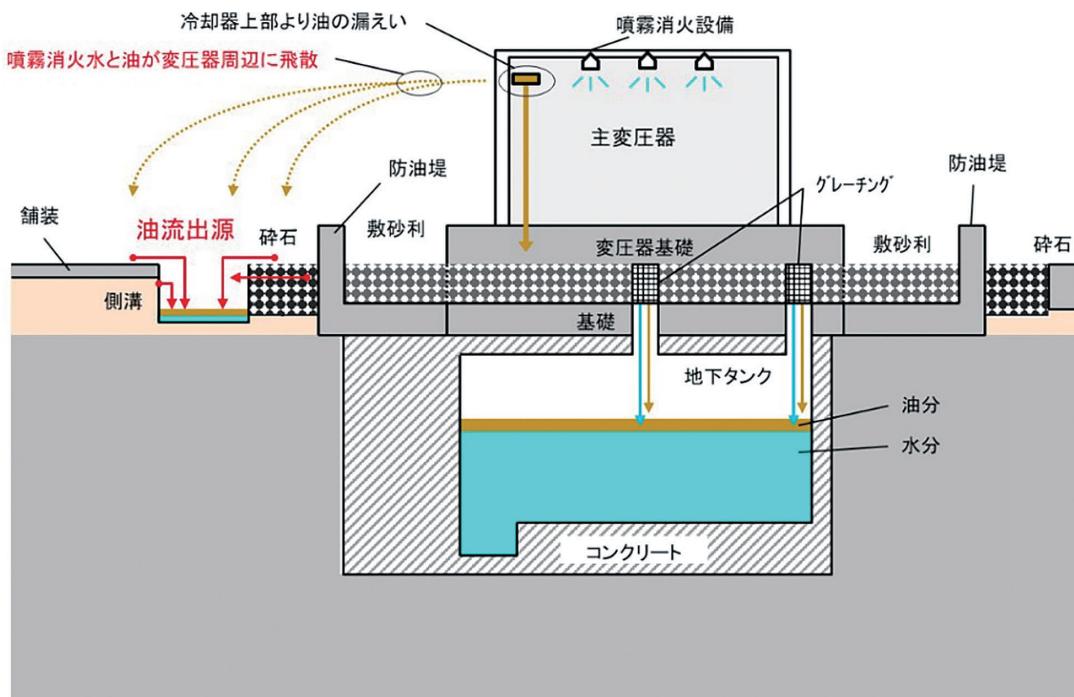
れています。

敷地高11メートルに4メートルの防潮堤や防潮壁を築き、15メートルまでの津波対策がされているので大丈夫だったとのことです。

見学を終えて

今回実際に構内を見学し、あれだけ大きな地震があったにもかかわらず、思っていたより建屋や地面が被害を受けていないなどというのが率直な感想でした。また、震災前から行われている安全対策の多様化・多重化のおかげで、震災による影響を受けても現在までに原子炉施設の安全確保に問題は生じていないとの説明を受け、安心することができました。一方で、実際には火災が起きていなかったにもかかわらず、火災が発生したと報道されたこと、津波による水位変化の有無、油の流出量などの誤情報の発信があったこと

は、住民に不安を与える結果となってしまうので、今後は正しい情報発信と一層の安全対策に努めて頂ければと思います。



▲噴霧消火水と油が変圧器周辺に飛散(イメージ)

志賀町

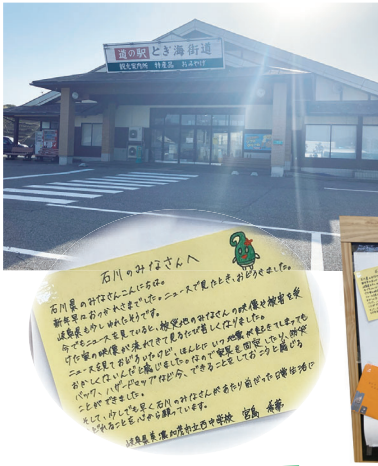
癒しの道の駅

とき海街道

能登半島地震の影響でしばらく休業していた道の駅「とき海街道」は、2月23日から営業を再開しています。震災後は、断水で掃除もままならず、商品棚は倒れ、店内に品物が散乱し、施設の周辺も隆起して被害がありました。従業員で店内外を片付け、時間を短縮して営業しています。

営業を再開してから、地元の方をはじめ、遠方からの支援者や、ボランティアの方々にご利用していただき、たくさんのご支援に感謝する毎日です。スタッフ一同

お待ちしております。
ます。是非ご利用ください。



営業時間 当面の間

午前10時～午後4時

定休日 木曜日

お土産コーナー



地元ならではの品々が並んでいます。

お食事コーナー



現在、食事メニューは縮小しています。

さくら貝資料館



入館無料

美しいさくら貝や、増穂浦海岸に打ち寄せられた300種類もの小貝をはじめ、世界各地から集められた貝殻を展示しています。

お問い合わせ 道の駅とき海街道

住所 志賀町富来領家町甲3-5

TEL 0767-42-0975

七尾市

「のと里山里海ミュージアム情報」

4月下旬よりミュージアムを再開します！

令和6年能登半島地震の影響で、しばらくの間休館しておりましたが、令和6年4月27日（土）より再開することになりました。

七尾を中心に能登半島の自然・歴史・文化を様々な資料で紹介します。引き出しクイズやタッチパネル

検索、里山里海シアターなど体験型のコーナーもあります。

開館時間 午前9時～午後5時

休館日 毎週火曜日（祝日開館）

観覧料 無料

公園スポーツイベント in

能登歴史公園「国分寺地区」

グラウンドゴルフ、ヨガ、ウォーキングなど、子どもから大人まで誰でも楽しめるスポーツ体験イベントを開催します。詳細は当館HPをご覧ください。

開催日時 令和6年5月26日（日）

午前10時30分～午後3時

お問い合わせ

のと里山里海ミュージアム

住所 七尾市国分町イ部1番地

TEL 0767-57-5100

HP <https://noto-museum.jp/>

令和6年

能登半島地震

元日に発生した令和6年能登半島地震では、中能登町内で最大震度6弱を観測しました。

同日、9カ所の避難所に1,300人が避難し、町内全域で断水が発生しました。

断水は1月13日に全地区で復旧しましたが、家屋被害が全壊50棟、半壊787棟、一部損壊は2,850棟に上り、非住家でも1,047棟が被害を受けるなど、今般の地震で多くの町民の生活に影響が及んでいます。

町道では400カ所以上で陥没や隆起といった被害が発生し、現在でも一部で通行止めが発生しています。農林関係では、農地やため池など、農業用の施設や林道で100カ所以上の被害が発生しました。(被災状況は4月3日現在)



崩れた石垣(石動山地内)

たくさんのご支援、 ありがとうございます。

発災直後から、関係事業者の皆さんには、インフラ復旧や支援物資の輸送などに携わっていただいています。

姉妹町の三重県紀宝町、対口支援団体※の岐阜県と岐阜県内の市町村をはじめ、国の機関や全国の自治体、様々な団体・個人から、人員の派遣、物資の支援、義援金など、多くのご支援をいただいています。また、災害ボランティアでは延べ1,474名以上の方々に、被災した町民の生活再建に向けて活動していただいております。

皆様の温かいご支援に厚く御礼申し上げますとともに、ご支援を励みとして早期の復旧・復興に取り組んでまいります。

※対口支援団体：被災市区町村を1対1で担当する団体(都道府県又は指定都市)が自己完結的に支援を行う方式。



給水活動を行う全国からの派遣職員

復興祈願&祝成人イベント

「御陵山の水まつり」

羽咋神社には良質な湧き水「御陵山の水」があり、令和6年能登半島地震でも枯れることなく、断水が続く状況の中で羽咋市外も含め多くの被災者が水を汲むため訪れていました。羽咋市駅前通り商店街事業協同組合は例年秋ごろに、商店街の組合員と金沢大学の学生たちと共同で「御陵山の水まつり」を開催してきました。震災を機に「命の水」の重要性を再認識できる復興イベントを、震災により延期となっていた令和6年「成人式二十歳のつどい」の前日である、5月4日に新成人のお祝いをかねて開催します。

イベント当日は、和菓子作りの専門家を招き、「御陵山の水」を使った和菓子作り体験や地域で長く親しまれている和洋菓子5店舗の共同開発商品である「薄衣(EASU)」を来場者に試食してもらい、「御陵山の水」の重要性を楽しみながら体感してもらいます。また、羽咋市と北陸電力株式「市民のための防災教室」を開催しますので、改めて防災の重要性について考える良い機会になればと思います。

そのほか、商店街の魅力を知ってもらうため、商店街各店が自慢の商品を展示・販売したり、大道芸人による路上パフォーマンスで地域の皆さんが笑顔になれるよう盛り上げますので、皆さんのお越しをお待ちしております。



日時 5月4日(土)
午前11時～午後4時

内容 ①「御陵山の水」から生まれた銘菓「薄衣EASU」の試食会
②「御陵山の水」を使った和菓子作り教室

③「市民のための防災教室」
④大道芸人による路上イベント
⑤商店街物販や金魚すくいなど
⑥七尾市の鮮魚店と志賀町の洋菓子店が復興に向け協力出店

参加費 体験コーナーは無料

場所 羽咋神社境内周辺

後援 羽咋市

お問い合わせ

駅前通り商店街事業協同組合

TEL 0767-2211311

志賀原子力発電所周辺の 環境放射線監視結果及び温排水影響調査結果

石川県、志賀町及び北陸電力(株)は、発電所周辺の環境放射線監視及び温排水影響調査を実施しています。
今回は、令和5年7月～9月の環境放射線監視結果「令和5年度 第2報」及び令和5年度春季の温排水影響調査結果「令和5年度 第1報(春季)」の概要をお知らせします。

環境放射線監視結果については、志賀原子力発電所に起因する環境への影響は認められませんでした。
温排水影響調査結果については、全体として大きな変化は認められませんでした。

I 環境放射線監視(令和5年7月～9月)

1. 空間放射線

石川県は志賀原子力発電所から30kmの範囲に24局の環境放射線観測局を設置しています。また、北陸電力(株)は発電所敷地境界に7局のモニタリングポストを設置しています。

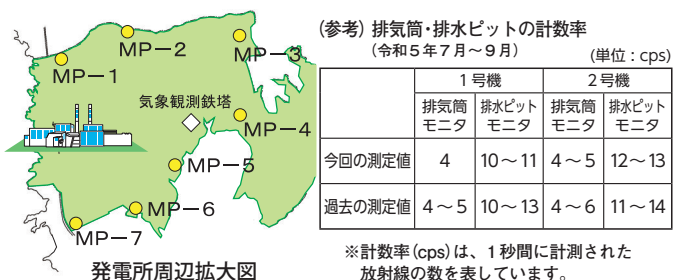
各観測局、モニタリングポストでは、空間の放射線量が1時間あたりどのくらいかを連続して測定しています。

各地点の測定結果において、発電所に起因する影響は認められませんでした。

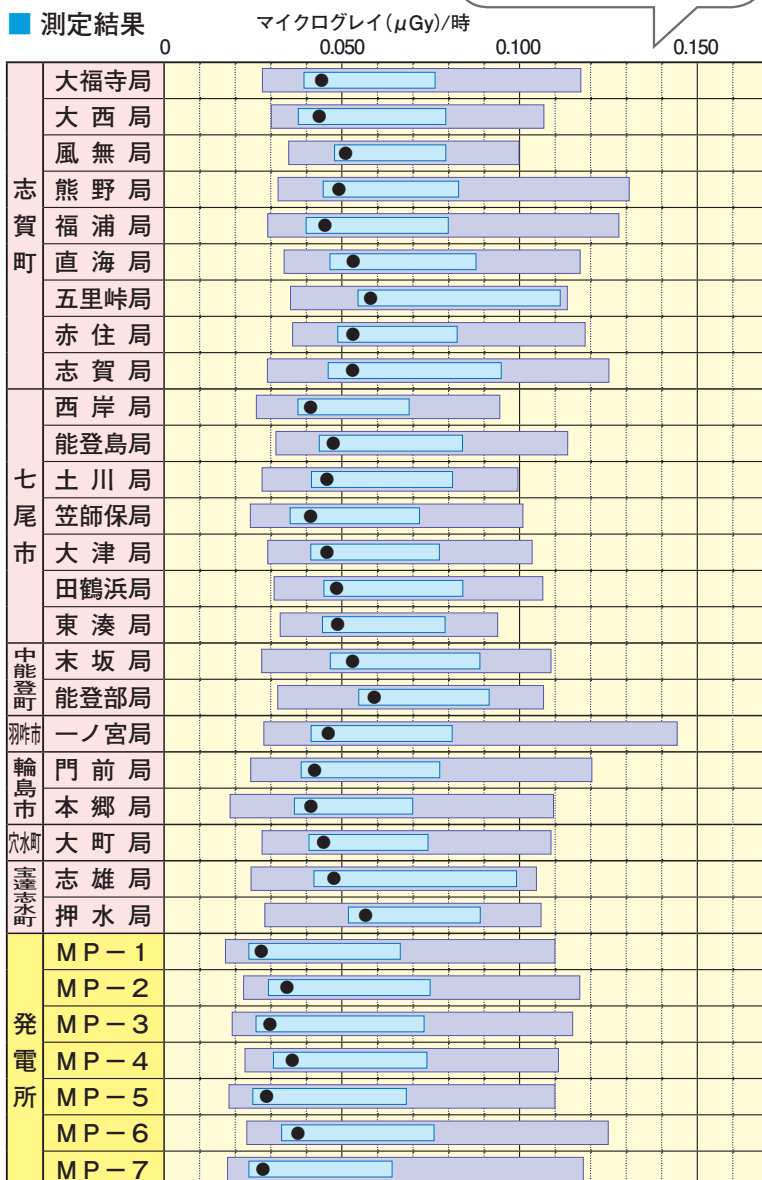
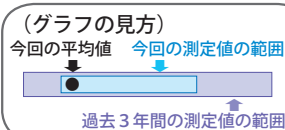
■ 環境放射線観測局(石川県設置)



■ 発電所モニタリングポスト(北陸電力(株)設置)



環境放射線観測局
(笠師保局：七尾市(地図下線))
空間放射線や風向、風速などを測定しています。



空間放射線の測定値について

空間放射線の測定値は、宇宙や地面などからの自然放射線によるもので、測定地点近傍の地質や測定器の位置等の違いもありますが、通常、0.020～0.100マイクログレイ(μGy)/時程度です。
日常よく見られる変動としては、降雨による線量率の上昇があり、降雨の場合は0.100～0.200マイクログレイ(μGy)/時程度になることがあります。
空間放射線の測定値の単位には、グレイ(Gy)/時が用いられます。また、小さな値を示すため、通常、100万分の1を示すマイクロ(μ)を付けて表します。
1マイクログレイ(μGy)/時は、100万分の1グレイ(Gy)/時(0.000001グレイ(Gy)/時)を示します。

2. 環境試料中の放射能

農畜産物や海産物、水道水などの試料を採取し、これらに含まれる放射性物質(セシウム137、ストロンチウム90、トリチウムなど)の濃度を測定しましたが、いずれも過去の測定値と同様に低い値でした。

環境試料採取地点(石川県 令和5年度分)



(参考) 志賀原子力発電所の運転状況 (令和5年7月～9月)

調査期間中は、1号機、2号機とも
運転停止中でした。



衛星回線付可搬型モニタリングポスト

測定結果

(グラフの見方)

検出目標レベル 今回の測定値

過去の測定値の範囲(福島第一原子力
発電所事故以前)
※これまでに検出されていない場合は、
表示していません。

【セシウム137】

(単位) 0.01 0.1 1 10 100 1000

陸上試料	降下物	ベクレル/平方メートル月	今回検出されず
	大気浮遊じん	ミリベクレル/立方メートル	今回検出されず
	陸水	ミリベクレル/リットル	今回検出されず
	土壌	ベクレル/キログラム乾土	今回検出されず
	松葉	ベクレル/キログラム生	今回検出されず
	牛乳	ベクレル/リットル	今回検出されず
海洋試料	特産物(スイカ)	ベクレル/キログラム生	今回検出されず
	海水	ミリベクレル/リットル	今回検出されず
	海底土	ベクレル/キログラム乾土	今回検出されず
	指標海産物(ホンダワラ)	ベクレル/キログラム生	今回検出されず
	サザエ	ベクレル/キログラム生	今回検出されず
	マダイ	ベクレル/キログラム生	今回検出されず
	チダイ	ベクレル/キログラム生	今回検出されず
	アジ	ベクレル/キログラム生	今回検出されず
	キス	ベクレル/キログラム生	今回検出されず
	カワハギ	ベクレル/キログラム生	今回検出されず

※ 試料採取期間 令和5年7月～9月

※ 海産物(カワハギ)は、計画していたキスが採取できず代替しました。

【ストロンチウム90】

(単位) 0.01 0.1 1 10 100 1000

陸上試料	土壌	ベクレル/キログラム乾土	今回検出されず
	牛乳	ベクレル/リットル	今回検出されず
海洋試料	海底土	ベクレル/キログラム乾土	今回検出されず
	ワカメ	ベクレル/キログラム生	今回検出されず
	サザエ	ベクレル/キログラム生	今回検出されず
	チダイ	ベクレル/キログラム生	今回検出されず
	メバル	ベクレル/キログラム生	今回検出されず

※ 試料採取期間 令和5年4月～6月

【トリチウム】

(単位) 0.01 0.1 1 10 100 1000

陸上試料	陸水	ベクレル/リットル	今回検出されず
海洋試料	海水	ベクレル/リットル	今回検出されず

※ 試料採取期間 令和5年7月

※ 検出されているセシウム137、ストロンチウム90、トリチウムは、志賀原子力発電所に起因するものではなく、過去の核実験等により環境中に放出されたものです。

令和6年能登半島地震による環境放射線観測局への影響について

石川県では、志賀原子力発電所周辺30km圏内に環境放射線観測局等95局(環境放射線観測局24局、簡易局71局)を設置していますが、令和6年能登半島地震においても国の指針で発電所監視のためにモニタリングが求められている発電所から10km圏内の観測局は正常に稼働し、放射線監視体制に影響はありませんでした。

一方で、原子力災害が発生した際に避難等を判断するための観測局のうち、志賀原子力発電所北側15km以遠の輪島市、穴水町の一部の観測局(最大16局)で通信回線の切断や停電による通信装置の電源断が生じ、データ伝送が停止しました。

このため石川県では、国(原子力規制庁)に対して原子力災害が発生した場合に備え航空機モニタリングの準備を要請するとともに、衛星回線付可搬型モニタリングポストを設置するなどの対応を行いました。なお、通信回線及び電源復旧後、観測局に蓄積されている地震発生後からのデータの再収集を行い、異常値がないことを確認しました。

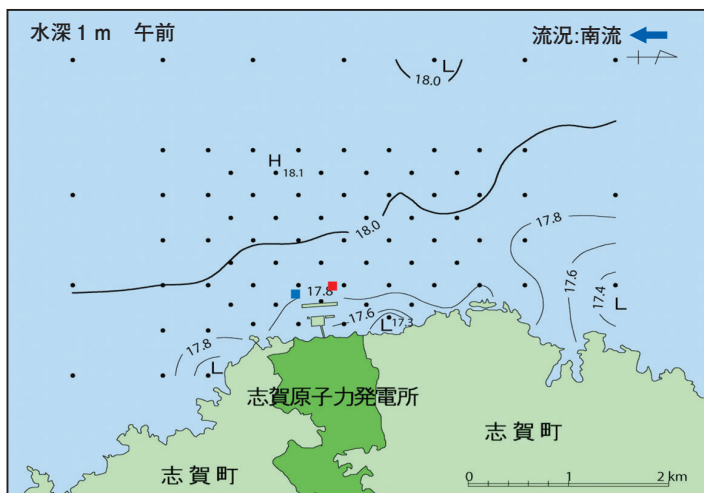


データ伝送が停止した観測局

Ⅱ 温排水影響調査(令和5年度春季)

1. 水温調査(調査日:令和5年5月23日)

■ 調査結果(水深1mの水温分布) 単位:℃



※ ■は1号機の放水口位置、■は2号機の放水口位置、●は水温調査地点を示す。

〈温排水の状況〉

調査期間中は、1号機、2号機とも運転停止中であり、温排水は放水されていませんでした。

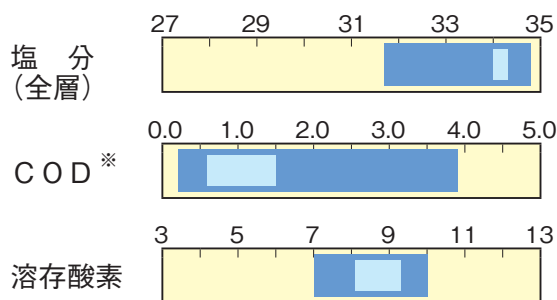


海水採取の状況

2. 水質調査(採水日:令和5年5月23日、24日)

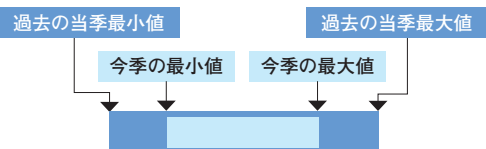
■ 調査結果(単位:mg/l ただし塩分を除く)

※表層(水深0.5m)、中層(水深5m)、下層(水深20mまたは海底上1m)における最小値及び最大値



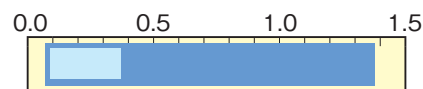
※COD: 化学的酸素要求量 (Chemical Oxygen Demand)

(グラフの見方)

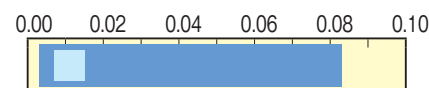


※過去の当季最小値及び最大値は、平成15年度～令和4年度までの調査結果です。

全窒素



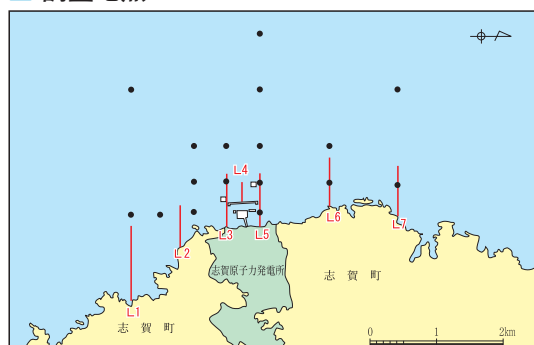
全リン



3. 海生生物調査(令和5年5月23日～29日)

海生生物調査では、潮間帯生物、底生生物、卵・稚仔及びプランクトンについて調べています。ここでは、そのうち底生生物のサザエの生息調査についてご紹介します。

■ 調査地点



●: 水質調査地点 | : サザエ生息調査測線

■ 調査結果

調査測線	水深(m)	調査面積(m ²)	調査結果(平均個体数/25m ²)	過去の春季調査結果(平成15～令和4年度(平均個体数/25m ²))
L 1	3～20	125	3.2	2.6～14.2
L 2	3～20	125	17.0	2.6～19.4
L 3	3～20	125	6.2	0.8～9.6
L 4	15～20	50	1.0	0.0～1.5
L 5	3～20	125	12.6	3.2～11.2
L 6	3～20	125	19.4	1.2～25.2
L 7	3～20	125	15.2	4.8～20.4

〈温排水調査結果の概要〉

水温調査: これまでの春季調査結果と比較すると、平均水温、平均塩分とも過去の範囲でした。同一水深層での温度差は0.5～1.8℃、塩分差は0.1～0.5でした。鉛直的には、上下層間の差は、水温は大きく、塩分は小さなものでした。

水質・底質調査: これまでの春季調査結果と比較すると、水質、底質とも同程度でした。

海生生物調査: これまでの春季調査結果と比較すると、サザエが一部測線でやや多かったほかは、いずれの項目も出現状況はほぼ同程度でした。

志賀町の文化財(三)

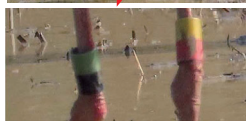
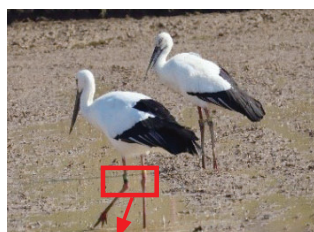
特別天然記念物

コウノトリとトキ

天然記念物とは動物や植物、地質・鉱物など自然のもので。この中でも特に貴重で国が指定したものを特別天然記念物といい、コウノトリとトキも含まれます。

野生絶滅

コウノトリは東アジアを飛来する渡り鳥でしたが、日本の水田や湿地に豊富なエサがあることから居ついたものもいました。トキは一年中一定の区域に定住する留鳥として日本の各地にいました。しかし、明治以降の生息環境の悪化、特に餌場であった湿地の埋め立てや水田の乾田化、農薬や化学肥料の大量使用により、田んぼの生き物が大きく減少したことが絶滅の主な要因になりました。昭和45年1月、能登に生息していた本州最後のトキが穴水町



水田でエサをとるコウノトリ
左側がオス(J0195、愛称:戸島くん)
右側がメス(J0205、愛称:ひかりちゃん)
個体識別のための足環がみえる

で保護され佐渡へ送られ、繁殖を試みられましたが絶滅してしまいました。コウノトリも同様にエサとなる生き物の減少により、昭和46年、最後の生息地である兵庫県豊岡市において野生絶滅してしまいました。

野生復帰の取り組み

トキは平成11年、中国から若い2羽のペアが提供され、佐渡トキ保護センターで人工繁殖に成功し徐々に増えていきました。平成20年に初めて野外放鳥を行ない、1羽が能登に飛来し大きな話題となりました。トキは現在約500羽に増え、殆ど佐渡に生息しています。コウノトリは豊岡市が野生復帰に取り組み、平成元年、ロシアから提供された若いペアの人工繁殖に成功しています。平成17年には野外放鳥を開始し約350羽に増えていきます。

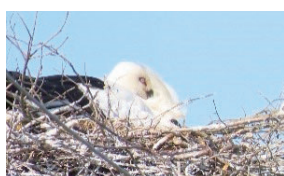
コウノトリは大型の鳥で高さ約110cm、羽を広げると2mにもなります。飛行能力にも優れ一度に100kmも飛行します。トキは高さ約75cmで、水田でよく見かけるサギより一回り小さいです。コウノトリの寿命は約30年、トキは約20年で共に長生きする鳥です。食べ物ほぼ共通しており、ドジョウやカエル、サワガニ、バッタ、イナゴなど肉食の鳥です。春暖かくなると巣づくりし2〜4個の卵を産みます。オスとメスが交代しながら卵を温め、ヒナ誕生後も協力して子育てをします。



巣づくり (3/15)

志賀町でコウノトリのヒナ誕生

令和4年4月、志賀町で高さ約10mの電柱の上にコウノトリが巣をつくり、野生絶滅後、県内で初めてヒナ3羽が誕生しました。コウノトリの巣は直径約2mと大きく、本来はマツの太木に営巣していました。放鳥後は電柱に巣づくりする例が多かったのですが、危険なため最近では人工的に巣塔を立て、そこで繁殖することが殆どです。志賀町の親鳥は兵庫県城崎温泉近くの戸島湿地の人工巣塔で産まれたオスと福井県越前市で放鳥されたメスです。コウノトリには足環がついているので、現在どこにいるか全国からたくさんの方が情報を寄せられ、保護と研究に役



抱卵中 (4/1)



ヒナにエサやり (5/21)

立てられています。コウノトリ市民科学や日本コウノトリの会のホームページで公開されています。志賀町の巣から巣立った3羽のヒナの内、1羽は3000kmも離れた台湾に渡り、1羽は韓国でくらししています。このようにコウノトリの情報ネットワークは東アジア全体に広がっています。



まもなくヒナの巣立ち (7/2)

コウノトリとトキと共に

令和6年元旦の地震で能登半島は未曾有の被害を受けました。巣は無事で3月に2羽の親鳥がやってきました。能登半島でトキの放鳥計画が進められており、コウノトリとトキがいつしよに復興した能登を飛ぶ日が待たれます。



羽咋市に飛来したトキ
メス(04、愛称:朱里ちゃん)
(平成25年2月)
羽咋市歴史民俗資料館提供

(文責) 志賀町文化財保護審議委員 土肥富士夫



催し物は、決まり次第お知らせします。
詳しくは、1・2ページをご覧ください。



おたよりコーナー

1月1日の大地震で電気のありがたさがわかりました。(羽咋市・70代)

能登原子力センターの行事に子供2人と参加してみたいです。(志賀町・30代)

原子力発電の安全性やその取り組みを学べておもしろかった。(七尾市・30代)

いままで原子力にあまり関心が無かったのですが、視察を機会に興味を持つようになりました。今後も勉強を兼ねてあともすクイズに応募します。(中能登町・60代)

志賀原発の建屋内での火災に備えるための対策がより強化されたことは非常に良いことだと思います。(七尾市・70代)

この地震で防災訓練の重要性和必要性が大切だと改めてわかりました。(中能登町・50代)

わが町トピックスはとても気に入ってます。行ってみようかなという気になります。(羽咋市・60代)

地元の出初式の写真がとてもかっこよかったです。(羽咋市・20代)

問題

発電所で発生した電気の電圧を変える機器

① ② ③ ④ ⑤
□ □ □ □ □



それぞれの数字の赤枠に入る文字を順に並べると答えになります。

- ① 令和の前の元号 □ □ □ □
- ② 水道が使えないこと □ □ □ □
- ③ 4月下旬より再開する七尾市の □ □ □ □ □ □ □ □
- ④ 震災の影響で延期となっていた羽咋市の 令和6年「二十歳の □ □ □ □」
- ⑤ コウノトリやトキなど、特に貴重で国が指定した 特別天然 □ □ □ □ □ □

前号のこたえ

ア ト モ ス

あともすクイズ



とじ込みはがきまたは二次元コードを読み込んで、答えと必要事項を書いて、能登原子力センターまでお寄せください。応募はどちらか1回のみの有効です。正解の方には景品をお送りします。(応募者多数の場合、抽選で40名の方にお送りします。締め切り 5月31日必着)



こちらからも応募できます。



公益財団法人
能登原子力センター

〒925-0166 石川県羽咋郡志賀町安部屋亥の34の1
電話 (0767) 32-3511 ファックス (0767) 32-3512
ホームページURL [https:// noto-gen.or.jp](https://noto-gen.or.jp)



原子力センター
HP



【見学のご案内】 ※地震の影響により、現在休館中

- 開館時間／9時30分～16時30分
- 休館日／毎月曜日(祝日の場合は、その翌日) 年末年始(12月29日～1月3日)
- 入館無料(団体・グループでの見学はあらかじめご連絡ください。)

